

ふれあい長谷



長谷地域づくり
協議会発行
☎83-2718



は研修来訪の

シーズンです。

センター長 加藤政男

①七月二十八日に美作大学の社会福祉学科の学生二十名が研修に来訪しました。目的は、中山間地域における長谷地域づくり協議会の取り組みの成果を学ぶためです。

長谷助け合い隊の活動や、福祉の重点取り組みについて発表しました。質問がどんどん入りましたが、充実した一時間三十分になりました。



②八月八日に兵庫県職員五名が研修に来訪しました。目的は、限界集落の地域における取り組みの成果を学ぶためです。

聞くところによると、彼らは、近い将来管理職の立場になる方々で、また、いろんな課の方々を集まりで、約一ヶ月間職場を離れてテーマを決め、現地研修をしているとのことでした。

「長谷助け合い隊の活動」や、「福祉の重点取り組み」について発表しました。「縮充」についての質問もあり



ましたが、まだ、試行期間中なので詳しくは説明できませんでした。彼らは、他に、「若洲のグラミンカ」や「コバコ」を訪問されたと聞いています。

※「縮充」とは…地域コミュニティを持続させるために必要な最低限の人口を維持しつつ、人口が減少しても豊かに暮らせる仕組みを作るなど、持続可能性を見出す考え方を指す造語